

下総玩具など芸術品即売

手びねりの素朴な味わいが人気の下総玩具(しもづがんぐ)の創始者で、今年満百歳を迎えた松本節太郎さん(柏市根戸)や地元の芸術作家の作品を展示即売する「第一回芸術作品即売会」が二十五・二十八日、柏市末広町のザ・クレストホテル柏二階カトレヤル



松本節太郎さんの「百歳記念展」支援

25日から柏で

ームで開かれる。

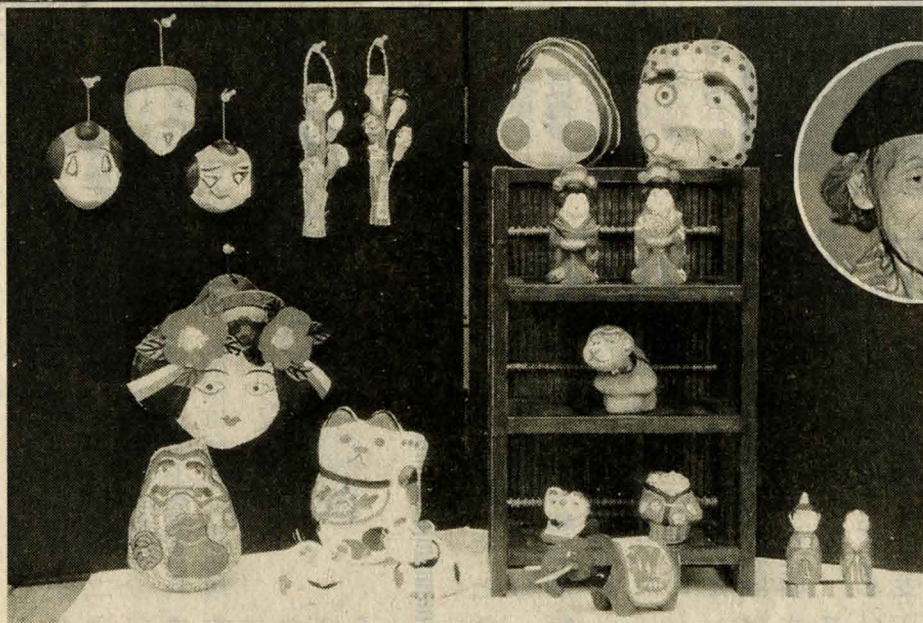
九月に開催予定の松本さんの「百歳記念展」に向けた活動紹介や記念展の運営支援のためだが、即売会は来年以降も同時期に続け、地元の芸術家を支援し、文化振興に役立てていくという。

松本さんは一九〇三(明治三十一年)一月、東京生まれ。戦災で柏に疎開後、裏山の粘土を使って手びねりで七福神やだるまなどの人形を作るようになった。これをリュックに詰めて浅草など都内の縁日で売り歩き、「下総玩具」として知られるようになった。

全国の郷土玩具ファンから根強い人気があるが、後継者難のため一代限りとなり、高齢などを理由に三年前には一時引退を決意したことも。しかし、今も現役として、現在は来年の千支(えと)・申(さる)の張り子の製作に取り組んでいるという。

会場では、松本さんの作品約三十点が出品されるほか、地元で注目されている約十人の画家・工芸作家らの作品を一堂に展示・即売する。より多くの人に知ってもらおうと、JR柏駅周辺で二十六、二十七両日に開かれる「柏まつり」に合わせた開催となる。

作品即売会は四日間とも午前十一時～午後七時。入場無料。問い合わせは事務局(ギャラリーノール) 〓電04(7146)6800へ。



松本節太郎さん(右上の顔写真)と下総玩具